

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	文化産業観光部	文化振興課
施設名称	(8)	東京都台東区立書道博物館	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	<p>[設置目的] 洋画家でもあり書家でもあった中村不折が開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。</p>
(2)	<p>[所在地] 台東区根岸2-10-4[規模] 延べ床面積 1,032.38㎡(蔵)16.52㎡ RC造 平屋建(本館)247.93㎡ RC造 2階建て 第1~5展示室(中村不折記念館)764.83㎡ RC造 3階建て エントランスルーム、展示フロア一、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など</p>
(3)	<p>[委託事業] 博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。施設使用料徴収などの事業。 [自主事業] 特別展、企画展 中村不折生誕150年記念展、みんなが見たい優品展</p>
(4)	<p>[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>その他()</p>
(5)	<p>[開館日・時間] 開館日：休館日(月曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)</p>
(6)	<p>[人員体制] 名(内訳) 8名 常勤固有職員(1)派遣職員(1)区政嘱託員(1)研究員(2) 専門員(2)特例嘱託員(1)</p>

2. 予算決算

		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料(指定管理料)	23,584,000	21,813,513	23,670,000	21,382,485
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	23,584,000	21,813,513	23,670,000	21,382,485
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	7,658,000	7,181,019	8,018,000	6,150,165
	維持管理費(委託料・賃借料)	13,573,000	11,893,926	13,108,000	12,193,802
	修繕費	200,000	838,026	200,000	1,342,958
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	2,153,000	1,900,542	2,344,000	1,695,560
	計	23,584,000	21,813,513	23,670,000	21,382,485
収支			0		0

3. 活動指標

	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	277	272	277	283

4. 成果指標

	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入館者数	人	8,750	13,442	15,400	15,600

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

上野地区共通入館券(UENO WELCOME PASSPORT)や、近隣地域である入谷地区の地域振興イベントへの新規参加などにより、新たな層の来館者の呼び込みに努めた。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	区に対し適切なタイミングで連絡を取り、また、必要な事項については区と適切に協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	施設管理に影響のない範囲で開館日数を可能な限り増やし、また、桜の開花時期には臨時開館するなど、開館日数を増加させ、来館しやすい環境づくりに努めた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	貴重な資料の保存・保護のために区と連絡をとりつつ、計画的な修理を進めている。また、中庭の蔵を含めた施設全体の修繕についても、小まめに報告があり、適切な管理運営が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	来館者から寄せられた、館内照明が暗いという意見から、省電力化対策とも併せて照明のLED化を計画的に進めている。また、「中村不折 生誕150年記念展」では、開館記念日などにプレゼント抽選会を行うなど、積極的な周知とあわせて入館者の増加に努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	自主事業の収支目標を意識しながら、適正に予算の執行がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点点目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
8 点	創意工夫により入館者数や開館日数の増に取り組むとともに、子供たちが「書」に興味を持てるよう、展示内容の工夫や、区内保育園・幼稚園・小学校などへ出前授業を行った。また、上野の山文化ゾーン講演会シリーズに区立文化施設として初めて参加した。

7. 総合評価 極めて良好 (110~101) ・良好 (100~91) ・適正 (90~70) ・改善指示 (69以下)

極めて良好 (106 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>施設管理に影響のない範囲で開館日数を可能な限り増やし、また、地域イベントや共通入館券への参加により、新たな来館者層の開拓に努めている。また、貴重な資料の保存・保護のために、計画的な修理を進めている。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>入館無料デーの実施により、昨年同時期の5.9倍の入館者数を集めるなど、全体の入館者数は前年度より増となったが、無料入館者数が大きく増えたため、入館料収入は前年度より減となった。地球温暖化対策、来館者サービス向上のためLED照明の導入を進めているが、今後とも建物、所蔵品の保存・保護に留意しながら、より魅力ある展示の実施や効果的な館のPRに努めていく。</p>
------------------------	--	--